

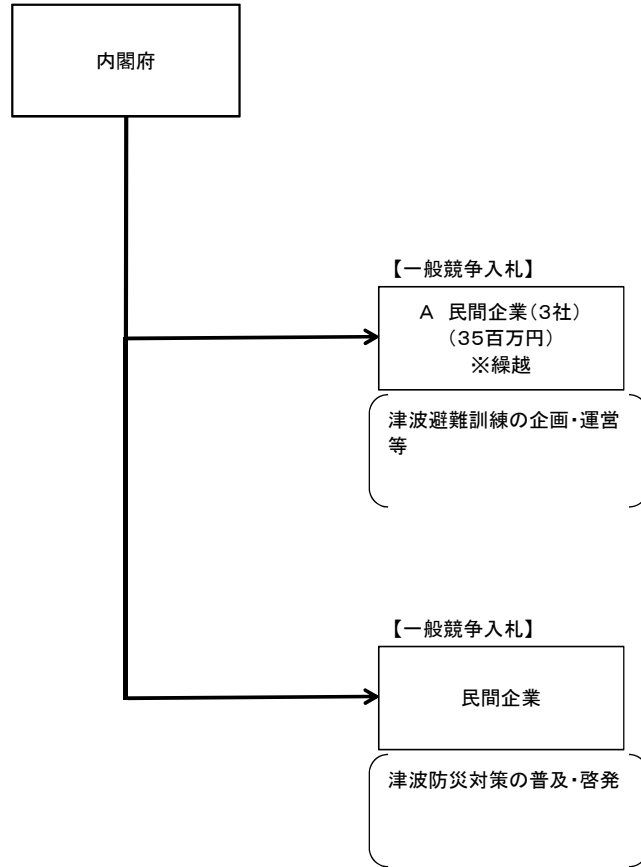
平成26年行政事業レビューシート

(内閣府)

事業名	住民と連携した地震・津波防災対策の強化に係る経費		担当部局	政策統括官(防災担当)	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度・終了(予定)なし		担当課室	参事官(地方・訓練担当)	柳橋 則夫			
会計区分	一般会計		政策・施策名	-				
根拠法令(具体的な条項も記載)	災害対策基本法第8条第2項18号		関係する計画、通知等	防災基本計画(平成26年1月、中央防災会議決定)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地震・津波防災に対する防災意識や対応能力の向上のため、“津波防災の日”である11月5日を中心に、地域住民を対象とした地震・津波防災訓練を行うとともに、津波防災訓練をテーマにしたシンポジウムを開催し、相乗効果の発揮を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	“津波防災の日”である11月5日を中心に、全国8か所で地域住民を対象にシェイクアウト訓練や避難訓練などの地震津波防災訓練を実施する。あわせて、地方公共団体、民間企業等に対しても、11月5日を意識した自主的な津波防災訓練を行うよう広く呼びかける。また、上記8か所の関係者や11月5日に訓練に取り組む者などを対象にした地震・津波防災訓練に関するキックオフイベントを7月30日に行い、津波防災に関する機運を高める。また、津波を中心とした災害対策を説明する映像・印刷物を作成し、国内外へ普及啓発をする際のツールとする。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算	-	-	100	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	100	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	▲100	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	0	100	-	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値(26年度)
	訓練参加者に対するアンケートの肯定的な評価の割合		成果実績	%	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	70%
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	地震津波訓練の参加住民数		活動実績	人	-	-	-	-
			当初見込み	人	-	-	-	5000人
単位当たりコスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	-		単位当たりコスト	-	-	-	-	-
			計算式	/	-	-	-	-
平成26・27年度予算内訳(単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	計	-	-					

事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	内閣府で実施する津波防災訓練・シンポジウム等の事業は、実施地域だけを対象にするのではなく、“防災の日”の普及啓発のための国民運動の一環として行うものであり、国が主体的に行うべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	発注は、一般競争入札により行っており公正性が担保されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	内閣府で実施する津波防災訓練・シンポジウム等の事業は、実施地域だけを対象にするのではなく、“防災の日”の普及啓発のための国民運動の一環として行うものであり、国が主体的に行うべき事業である。				
	改善の方向性	効率的な予算執行に取り組むとともに、訓練実施に当たっては、関係省庁等と連絡調整を密にし、効果的に実施するよう努める。				
外部有識者の所見						
<p>地産な防災意識の向上を目指す事業であり、事業そのものへの反対はない性格のものと思われるがゆえに、効率的執行が必要となると思われる。一般競争入札において、十分に競争性が発揮されるように留意して頂きたい。</p>						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>(予算を繰り越したことから本事業は来年も外部有識者の点検を依頼する予定の事業) 外部有識者の所見を踏まえ、予算を効率的に執行し、一般競争入札において、競争性を発揮されるように留意すべき。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	<p>26年度の事業実施に当たり、予算の効果的な執行に努める。</p>					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年	-	平成24年	-	平成25年	-	-

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(株)総合防災ソリューション

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

A.(株)総合防災ソリューション					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	地震・津波防災訓練等業務	20			
計		20	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)総合防災ソリューション	地震・津波防災訓練等業務	20.4	2	71%
2	(株)野村総合研究所	南海トラフ巨大地震及び首都直下地震に係る経済被害軽減対策等検討業務	8.1	4	40%
2	(株)野村総合研究所	南海トラフ巨大地震及び首都直下地震に係る経済被害軽減対策等検討業務	6.7	14	28%